

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.19をお届けいたします。

f facebook



5月のTOPICS

- 歯磨きの時間と頻度に基づく口腔衛生が血管内皮機能に及ぼす影響
- 第60回日本糖尿病学会年次学術集会
イブニングセミナー・学会展示のご案内

■ 歯磨きの時間と頻度に基づく口腔衛生が血管内皮機能に及ぼす影響

歯周病は慢性炎症を介して血管内皮機能障害を引き起こし、動脈硬化の一因となることが知られていますが、歯周病の予防として簡便かつ重要な歯磨き習慣と血管内皮機能の関連は明らかになっておりません。そこで今回は歯磨きの頻度および時間と血管機能の関連を検討した内容をご紹介します。

歯磨きの頻度と時間によって、頻度が少なく（2回未満/日）且つ時間も短い（2分未満/回）群、頻度が少ない若しくは時間が短い群、頻度は多く（2回以上/日）且つ時間も長い（2分以上/回）群の3群に分類した896例を対象に（平均年齢61±17歳）血流依存性血管拡張反応（FMD）とニトログリセリン誘発性血管拡張反応（NID）を測定した結果以下の様な結果が出ております。

頻度が少なく且つ時間も短い群のFMD値は、頻度が少ない若しくは時間が短い群のFMD値よりも有意（2.7% vs 3.2% $P=0.001$ ）に低く、また、両群のFMD値は頻度は多く且つ時間も長い群に対しても有意（4.7% $P<0.001$ ）に低かった。NIDは3群において同等の結果でした。多重ロジスティック回帰分析では、歯磨きの頻度の減少（オッズ比1.47、95%CI 1.04～2.08、 $P=0.03$ ）および時間の減少（オッズ比1.49、95%CI 1.08～2.06、 $P=0.01$ ）は、いずれも低FMD三分位値に対して、独立して関連していることがわかりました。このことから歯磨きの頻度および時間の低下は、どちらも血管内皮機能障害との関連を認めた結果となりました。

文献情報：Int J Cardiol. 2017 Mar 16.

■ 第60回日本糖尿病学会年次学術集会にてイブニングセミナー および機器展示をおこないます

イブニングセミナー

食後血糖変動と血管内皮機能からみた「心血管病リスク」

日時：5月19日(金) 19:10～20:00

会場：第2会場（名古屋国際会議場1号館3F 会議室131+132）

座長：石垣 泰 先生 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝内科分野

演者：島袋 充生 先生 福島県立医科大学糖尿病内分泌代謝内科学講座

詳細は別紙チラシをご覧ください

学会機器展示

会場：名古屋国際会議場 展示会場①(1号館1階イベントホール)

日時：5月18日(木)～20日(土)

食後血糖変動と血管内皮機能 からみた「心血管病リスク」

■日時：2017/5/19(金) 19:10～20:00

■会場：第2会場

名古屋国際会議場 1号館 3F 会議室 131+132
名古屋市中区熱田区熱田西町1番1号

座長

石垣 泰

先生

岩手医科大学医学部内科学講座
糖尿病・代謝内科分野

演者

島袋 充生

先生

福島県立医科大学
糖尿病内分泌代謝内科学講座

食後高血糖や一日血糖変動は、動脈硬化心臓血管病 atherosclerotic cardiovascular disease (ASCVD) の発症リスクである。ASCVD の基盤には、血管内皮機能障害が存在する。食後高血糖・血糖変動が、どのように血管内皮機能を障害し心臓血管病発症に関わるかについて考察したい。また血管内皮機能をサロゲートマーカーとした糖尿病診療について考えてみたい。

■当学会共催セミナーは整理券制となります。次の2つの方法で入手願います。

◆ 本会への事前参加登録者を対象に共催セミナーの事前参加登録も行いますので登録いただけます。
・事前参加登録期間 4月10日(月) 17時～4月21日(金) 正午

◆ セミナー当日も参加者へ当日券を配布いたします。(当日券は発券機を使用して発券いたします)
学会参加登録をお済ませの上、下記いずれかの共催セミナー整理券発券所までお越しください。

発券所①：名古屋国際会議場 2号館 1階 エスカレーター前ホール

発券所②：日本特殊陶業市民会館 1階 フォレストホール前ロビー

※当日整理券の発券はセミナー開催日のみです。

発券時間：イブニングセミナー：13時00分～18時00分

なお、整理券はセミナー開始と同時に無効になりますのでご注意ください。